

平成25年度【提案】事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度

25

年度

市町村名	小鹿野町			
事業名	観光まちづくり推進事業			
事業期間	平成25年7月～平成26年3月			
事業の必要性、目的	<p>これまで地域資源の掘り起こしや地域住民と連携した手作りイベントの実施、観光案内人のスキルアップ等を実施し、小鹿野町の魅力アップのための事業を行い、観光まちづくりを推進してきた。この結果、マスコミにも取り上げられ多くの観光客が小鹿野町を訪れるようになった。また、平成26年は12年に1度の午年総開帳の年にあたり、札所巡りなど多くの人々が秩父地域を訪れると思われる。この機会を捉え、小鹿野町を訪れた観光客に「来てよかった、また来てみたい」と思っていたら、リピーターへと繋げていくことが必要である。</p> <p>そこで、町の魅力を案内人が直接的に伝える町歩きや、案内人がいなくても地域資源の散策ができる案内板や説明板の設置を行うとともに、町中を周遊する観光客が増加する中、きれいで使いやすい観光トイレの必要性が増していることから、観光トイレの整備を行い、気持ちよく町歩きを楽しんでいただき、何度も訪れて見たい町とすることで交流人口の増加による地域振興を図る。</p> <p>また、秩父圏域外からの来訪者の公共交通機関は路線バスのみであることから、町の観光拠点の一つである道の駅「両神温泉薬師の湯」の隣接地にバスターミナルを整備し、西武秩父駅からの路線と三峰口駅からの路線をバスターミナルで接続することで、両神山へ向かう登山客やダリア園などの花の園地への観光客が訪れやすくなり、郊外周遊観光の利便性の向上が図れる。</p> <p>併せて、短い乗り継ぎ時間（1～2分）内でも観光客や町民がスムーズにトイレを利用できるようにバスターミナルに隣接した場所に水洗式の多目的トイレを整備し、観光まちづくりを推進する。</p>			
成果指標	（成果を検証する指標） 観光入込客数			
	（成果検証の具体的な方法） 観光施設の入館者やハイキング登山客、札所巡りなど町を訪れる全体の入込客数を把握することにより成果を検証する。			
	（上記の指標を設定した理由） 本事業を通じて町への入込観光客数の増加を図りたいので、年間の町への入込観光客数を成果指標として設定した。			
	（成果の目標値）			
	現状値 <small>（23年1月～23年12月現在）</small>	観光入込客数 227,319人	目標値 <small>（26年1月～26年12月時点）</small>	観光入込客数 250,000人
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法及び特記事項	町ホームページに掲載して公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成25年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 観光トイレ設置事業	<p>これまで地域資源の掘り起こしや地域住民と連携した手作りイベント「路地ST.」、観光案内人のスキルアップ等を実施するとともに、町中観光の拠点施設である観光交流館の整備を行い、小鹿野町の魅力アップのため観光まちづくりを推進してきた。</p> <p>この結果、マスコミにも取り上げられ多くの観光客が小鹿野町を訪れるようになり、町中観光を楽しむ観光客も多くみられるようになった。</p> <p>今後は更なる観光客の増加を図り、観光案内板（史跡や町屋づくりの商家などの説明板、通りの名称表示板など）の整備を行うとともに、訪れる観光客のためにバリエーションに富んだ町中周遊ルートの作成を行い、初めての町歩きでも楽しんでいただけるよう工夫を凝らしていく。</p> <p>しかし、周遊ルート上にトイレがないところもあるなど環境面の整備が遅れている。このため町中周遊ルートの起点（終点）である当地点に水洗式の多目的トイレを整備する。</p> <p>また、秩父圏域外からの来訪者の公共交通機関は路線バスのみであることから、町の観光拠点の一つである道の駅「両神温泉薬師の湯」の隣接地にバスターミナルを整備し、西武秩父駅からの路線と三峰口駅からの路線をバスターミナルで接続することで、これまでより両神山へ向かう登山客やダリア園などの花の園地への観光客が訪れやすくなり、郊外周遊観光の利便性の向上が図れる。併せて、短い乗り継ぎ時間（1～2分）内でも観光客や町民がスムーズにトイレを利用できるようにバスターミナルに隣接した場所に水洗式の多目的トイレを整備する。</p>	17,500

② 町歩き事業	ソフト	秩父地域おもてなし観光公社とタイアップして、里山案内人とともに歩く町歩きを実施する。	0
③ 観光案内板整備事業	ソフト	町歩きの魅力を向上させるため、通りの名称や古い商家などの説明板を整備する。(国の補助制度を活用)	5,000
合計			22,500

### 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	<p>小鹿野町を訪れた観光客がより町歩きを楽しめるように、観光案内板や観光トイレを整備することで、町の魅力が向上し、誘客が望める。</p> <p>また、平成26年は午年総開帳の年にあたることから、この機を捉えて、観光協会等と協力して町外の道の駅や鉄道駅観光事業者にパンフレット等を配布し広くPRを行うとともに、鉄道駅等で観光PR活動を行う。</p>
成果指標の達成見込み	<p>日本ジオパークの認定や尾ノ内溪谷の氷柱、秩父札所など注目すべき観光スポットが多くあり、それらを総合的にPRするパンフレットや人気の高い早春の花やダリア、日帰り温泉、宿泊施設など目的別のパンフレットなどを配布することにより町を訪れてみたいと思う観光客の増加に繋がると思われ、目標は達成可能と考える。</p>